

平成24年度

第10期

少年町長・議員活動

# 報告書



平成25年3月 山形県遊佐町

# 遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期 日	場所等	備 考
少年町長・少年議員の立候補者募集	5月30日(水)	広報ゆざ 6月1日号	HPも同時開設
立候補者受付期間	5月30日(水)～6月6日(水)		立候補者募集開始、立候補の抱負を一緒に提出する
意見調査票 説明・配布	6月15日(金)～6月22日(金)	各学校	各学校で意見調査票について説明・配布し回収
少年町長・少年議会当選証書交付式	6月24日(日)	議事所	所信表明
第1回全員協議会	6月24日(日)	議事所	自己紹介・オリエンテーション
第2回全員協議会	7月8日(日)	生涯学習センター (第2研修室)	遊佐町の概要について 町内視察
第3回全員協議会	7月23日(月)	生涯学習センター (小研修室)	西浜花火大会・海岸清掃活動の対応について 政策提言について
西浜花火大会海岸美化啓発活動 東日本大震災被災者支援募金活動	7月28日(土)	西浜海水浴場	啓発ティッシュ・エチケット袋の配布 募金活動
海岸美化清掃	7月29日(日)	西浜海水浴場	清掃活動
第4回全員協議会	7月30日(月)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策提言の検討について(ワークショップ)
第5回全員協議会	8月8日(月)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策提言の検討について(ワークショップ) 町民盆踊り大会への参加内容について
第43回町民盆踊り大会	8月14日(火)	大会会場	盆踊り大会への参加
第6回全員協議会	8月29日(水)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	ツデーマーチエール及びボランティア参加について 政策提言の検討について(ワークショップ)
奥の細道鳥海ツデーマーチ	9月1日(土)・2日(日)	大会会場	エールの実施及びボランティア活動
一般質問・政策提言相談(各自)	9月6日(木)・7日(金)・ 11日(火)～13日(木)	生涯学習センター (応接室)	政策提言内容の検討・確認
第2回少年議会	9月18日(火)	議事所	施策方針・一般質問・政策提言の発表と協議
第7回全員協議会	9月25日(火)	生涯学習センター (視聴覚室)	神鹿角切祭及び鮭のつかみどり大会への参加について 今期少年議会の実施政策について
第8回全員協議会	10月2日(火)	生涯学習センター (視聴覚室)	神鹿角切祭への参加について 政策の実施に向けた検討
第35回鳥海山神鹿角切祭	10月8日(月・祝)	大平山荘	角切イベント 抽選会司会・プレゼンター
第9回全員協議会	10月13日(土)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	鮭のつかみどり大会への参加について 政策の実施に向けた検討
第17回鮭のつかみどり大会	10月21日(日)	月光川河川公園	運営スタッフ・アトラクション担当として参加
第10回全員協議会	11月2日(金)	生涯学習センター (応接室)	スポーツごみ拾いin遊佐「ゴミスポ！」内容の検討 子育てフォーラムへの参加について
スポーツごみ拾いin遊佐「ゴミスポ！」	11月10日(土)	遊佐町元町地区	政策「自然保護活動」の一環として実施。 内容:スポーツごみ拾い・ごみクイズ・エコバック作成
第11回遊佐町子育てフォーラム	11月11日(日)	生涯学習センター (ホール)	事例発表:少年議会活動の紹介
第11回全員協議会	11月24日(土)	生涯学習センター (調理室)	少年議会特産品の試作①
第12回全員協議会	12月9日(日)	生涯学習センター (調理室)	少年議会特産品の試作②
遊佐産農水産加工品試食販売会 「遊佐町フードフェスタ2012」	12月15日(土)	パレス舞鶴	少年議会特産品「芋煮コロッケ」「アップテト」試食品出品
第13回全員協議会	12月21日(金)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	第3回少年議会についての話し合い 遊佐の歳和市「ゆざと軽トラ市」への参加について
遊佐の歳和市「ゆざと軽トラ市」	12月29日(土)	遊佐駅(ゆざとプラザ)	少年議会特産品「芋煮コロッケ」「アップテト」販売
今期少年議会活動報告作成(各自)	1月8日(火)・9日(水)	生涯学習センター (応接室)	第3回少年議会のための活動報告書作成
第3回少年議会	1月16日(水)	議事所	活動総括・次期少年議会へ伝えたいこと
ゆざミュージックフェスティバル	2月16日(土)	生涯学習センター (大会議室)	若者を活気づける音楽イベントの開催



# 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第10期）

1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と出番が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球的規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのもの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高生等々の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議会の構成対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。

対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議会は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 少年町長（1名）   | 対象者のうち少年町長に立候補し、全対象者（全有権者）の投票により信任された者  |
| (2) 少年議員（10名）  | 対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者  |
| (3) 少年副町長・少年監査 | 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年副町長（若干名）・少年監査（若干名）を委嘱できるものとする。委嘱された少年副町長・少年監査は、少年議会の構成員となる。 |

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり、少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

## 8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び副議長を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。  
併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

## 9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

## 10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

## 11. 事業期間 平成24年4月～12月(第10期)

### 12. 事業スケジュール(概要)

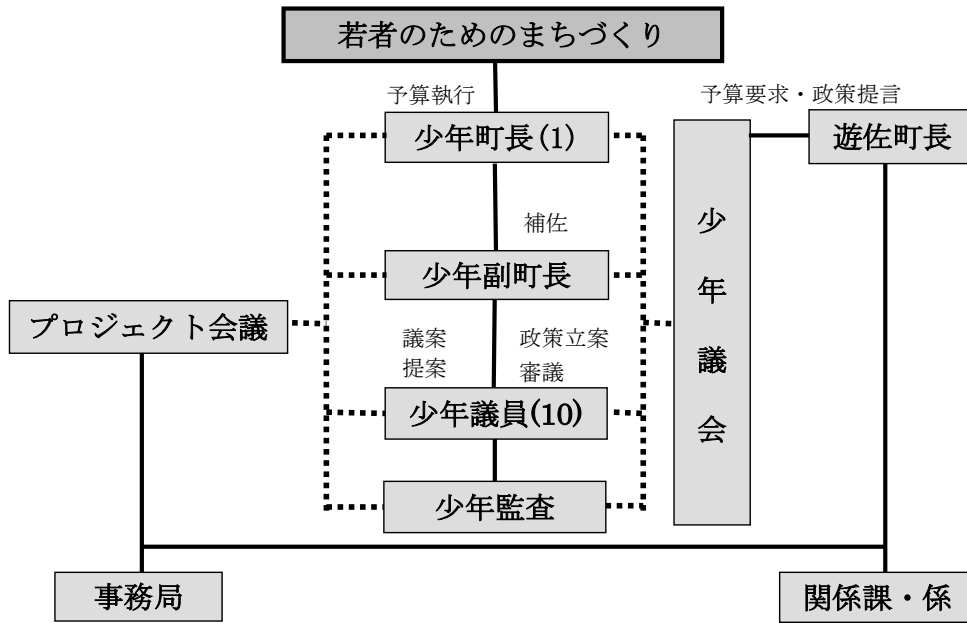
平成24年4月 第10期プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)  
平成24年 5月 各高校への協力お願いと生徒への主旨説明  
平成24年 5月 立候補者対策  
平成24年 5月 少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成  
平成24年 6月 全構成員による直接選挙  
平成24年 6月 当選証書の交付及び事業説明  
平成24年 6月 第1回少年議会  
平成24年 7月～8月 政策討議  
平成24年 8月 第2回少年議会  
平成24年 8月 遊佐町長への予算要求  
平成24年 9月～ 予算執行(事業の実施)  
平成24年12月 末日、任期満了

### 13. 政策予算

全期間を通じて450,000円とする。

但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

遊佐町少年町長・少年議会公選事業構造図





第10期

# 少年町長・少年議員 立候補者募集

## 1 「選ぼう」

遊佐町に住む中学生・高校生と遊佐町に通学する高校生から「少年町長」「少年議員」の立候補を受け付け、選挙によって「少年町長」「少年議員」を選び、「少年議会」を開催します。

**立候補者受付期間** 平成24年5月30日(水)～6月6日(水)

**公選で選ぶ人** (1)少年町長 1人 (2)少年議員 10人

少年町長・少年議員に当選できなかった人は少年副町長・少年監査に就任いただきます。

**立候補の仕方**

立候補用紙で直接またはFAXによる届け出、もしくは学校の先生への提出にて受付します。

**受付**  
遊佐町教育委員会  
教育課

## 2 「討議しよう」

遊佐町の若者の代表として、議会・全員協議会を開催し遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。自分たちの決めた政策を、政策予算45万円を用いて実現していきます。

## 3 「実現しよう」

**主な活動内容**

- ・有権者の意見集約と町への政策提言
- ・政策予算による自分たちの政策実現のための活動  
(例 B級グルメづくり、米～ちゃん絵本「米～ちゃん一家のキメコトバ」発行等)
- ・町内各種イベントへの参加  
(例 鳥海ソーデーマーチ、神鹿角切祭、海岸美化啓発・清掃活動 等)



第2期少年議会において「遊佐町をもっと元気にしたい」という有権者の意見を実現するために、少年議会のイメージキャラクターを募集しました。

**自分たちが本当に求める遊佐のまちを、  
自分たちの力でつくろう!!**

### 少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ( )	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

立候補の抱負


問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局  
遊佐町教育委員会教育課社会教育係  
〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内  
TEL.0234-72-2236

届け出は ▶ FAX.0234-71-1222



# 遊佐町 少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に  
わたしたちは  
提案します



Be-chen  
米〜ちゃん  
遊佐町イメージキャラクター

## 第10期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成24年5月30日(水)から6月6日(水)まで、第10期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長に1名、少年議員に8名の立候補がありました。その結果、少年町長・少年議員ともに定数以内だったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍していきますので、みなさん応援よろしくお願いします。

また、これからの少年議会の活動のもととなる有権者のみなさんから、遊佐町に対するご意見を受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、下記事務局までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくれます。多くのご意見をお待ちしています。



## 少年町長

県立遊佐高等学校2年 (地区●吹浦)

くり た あおい  
**栗田 葵**

遊佐町をより良い町にするためにがんばります!! よろしくお祈りします。

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局○遊佐町教育委員会教育課社会教育係  
〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内 TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222  
(e-mail) [youth2012@town.yuza.yamagata.jp](mailto:youth2012@town.yuza.yamagata.jp)



# 遊佐町少年議員

県立酒田光陵高等学校2年 (地区●遊佐)



いけ だ たか ひろ  
**池田 貴裕**

しっかりと遊佐町の力になれるよう頑張っていきたいです。また、経験者としてみんなを引っ張っていきたいです。

県立遊佐高等学校2年 (地区●吹浦)



か とう あつ こ  
**加藤 敦子**

私はイベントや特産品作りなどに積極的に参加しているんな視点から遊佐町の未来について考えていきたいです。また、前期少年議会に引き続き、被災地ボランティアも出来ればいいなと思っています。

県立酒田光陵高等学校2年 (地区●藤岡)



とも の ゆう  
**友野 雄**

遊佐町をさらによりよいものにするために誠心誠意がんばりたいと思います。

県立遊佐高等学校2年 (地区●稲川)



ど もん なお つく  
**土門 直嗣**

僕は遊佐町が好きなので、遊佐町に貢献したいと思い立候補しました。頑張りますのでよろしくお願いします。

県立遊佐高等学校2年 (地区●酒田市)



み うら りょう た  
**三浦 遼太**

僕は、遊佐高に入学してから遊佐町のすばらしさを知りました。少年議員になったら遊佐町の良いところを山形のたくさんの人に伝えたいです。そして、観光客の人たちがまた来たいと思う町をつくりたいです。

町立遊佐中学校3年 (地区●吹浦)



たか はし とも か  
**高橋 朋佳**

遊佐町のために、私が意見を出して何かに取り組みたいと立候補しました。今の遊佐町を自分の手でもっと良い所にして行きたいと思っています。町のために全力で取り組みます。

町立遊佐中学校3年 (地区●稲川)



ど もん な お  
**土門 奈央**

少年議員になって遊佐町に貢献したいと思いました。中学生の今からできることがあると思います。私はそのできることを少年議員として一生懸命取り組みます。よろしくお願いします。

町立遊佐中学校3年 (地区●遊佐)



わた なべ な つき  
**渡邊 渚月**

昨年度に引き続き、今年度も少年議員として遊佐町に貢献していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

## 遊佐町少年議会 若者の意見調査

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんのご意見をお寄せください！少年町長・少年議員に、あなたの意見を届けましょう！

1 あなたは、遊佐町が好きですか、嫌いですか。  
それは、どんなところですか。その理由を具体的に記入してください。

○ 好き ・ 嫌い (どちらかを○で囲んでください。)  
○その理由(具体的に記入してください)

2 あなたは、将来、遊佐町がどんな町になってほしいですか。具体的に記入してください。

3 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいと思いますか。

4 あなたが、少年町長・少年議員と一緒に参加してみたいこと、できそうなことはありますか。

5 少年議会の活動について、どう思いますか。今後の活動をより良くするため、みなさんの少年議会へのご意見をご自由に記入ください。

6 遊佐町へのご意見等があれば、ご自由に記入ください。

☆ご協力ありがとうございました。今後の少年議会活動にご協力と応援をお願いします。

# 施策方針及び少年議会独自政策（マニフェスト）

## 1. 施政方針

「自然・人・文化 遊佐町らしさをまるごと活かしたまちづくり」

## 2. 少年議会が目指す遊佐町の将来像(アンケート「若者の意見調査」質問2より)

目指す将来像	具体的内容
活気ある町	・就職先が増えて若い人が定住できる町 ・観光客が増えにぎやかな町 ・自然が今のまま残されつつ、人口や観光客が増え活気がある町
自然が豊かな町	・海や川、鳥海山、田畑がきれいなまま残り、自然あふれる町 ・ポイ捨てゼロ、不法投棄がない町
平和な町	・一人一人が安全運転で事故が起きない町
明るく元気な町	・一人一人が意識して、あいさつが飛び交う町 ・観光に来てくれた人にも気軽に話しかけられるような人がたくさんいる町

## 3. 少年議会の独自政策(マニフェスト)(アンケート「若者の意見調査」各質問の回答より)

政策	具体的内容
イベント（「祭り」も含む）	・住民みんなが参加できるもの ・自然を利用したイベント ・地域の人たちと関わりを深められるもの ・音楽イベント
特産品づくり・販売	・新しく創作する他、これまで作ってきた特産品の販売を目指す。
遊佐町PR	・遊佐町の自然や観光名所を、町が直接PRする他に、国内企業にも活用してもらうためPRする。
ボランティア活動 (被災地支援も含む)	・高齢者訪問ボランティア ・被災地支援は、募金やボランティア活動の他に、現地でのチャリティイベントを開催。
街灯（防犯灯）設置要望	・通学路への街灯（防犯灯）設置を町に要望
店舗数増の対策要望	・遊佐町にしかない、遊佐町独自の店舗・施設を増やす対策を要望。
旧稲川小学校跡地有効活用の要望	・旧稲川小学校跡地の多目的公園建設にあたり、だれでも使用できる安全な公園にしてもらうよう要望。
自然保護活動	・クリーン作戦の実施

## 4. 活動にあたっての重要事項(アンケート「若者の意見調査」各質問3・4・5より)

内容	対策
活動内容を知ってもらうためのPR	・新聞やおたよりを作成し、活動内容を随時伝える。
活動内容の工夫	・町民の方が一緒に参加できる内容にする。 町民の方が興味を持ってくれる内容にする。



# 少年議 会

## 政策提言

# 1

【施政方針・一般質問・私の政策】

平成 24 年 9 月 18 日 (火)

第 2 回少年議会

### 施 政 方 針

## 少年町長 栗田 葵

第 2 回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第 1 回少年議会以降、全員協議会を開催して、「若者の意見調査」アンケートの集約結果をもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。

その結果を踏まえ、第 10 期少年議会では、「自然・人・文化 遊佐町らしさをまるごと活かしたまちづくり」をコンセプトとして、活動していきます。

アンケートでは、遊佐町を好きな理由として、「豊かな自然」「人の優しさ」「静かで落ち着いているところ」という意見が多数見られました。これらは、遊佐町の良い所、遊佐町らしいところと考えます。一方で、「より活性化してほしい」「元気にしてほしい」という意見も沢山ありました。そこで、少年議会では、遊佐町らしいところを活用し、幅広い世代の皆さんからも参加してもらえる政策内容により、活気ある町づくりに取り組んでいきたいと考えています。

また、今年度、少年議会は第 10 期という節目の年を迎えました。これまでの少年議会の活動を振り返り、引き継ぎながら、先輩方からもご参加いただけるような活動も検討していきます。

今後の活動は、町民皆様のご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

以上を、今年度少年議会の施策方針とします。

### 一 般 質 問

## 少年議員 土門 奈央

私が町にお願いしたいことは、遊学路への街灯の設置です。

街灯の設置をお願いしたい理由は、中高生の意見からと私自身の経験からです。「若者の意見調査」を少年議会で集約した結果、街灯の設置を望む人が 19 人いました。さらに遊佐町を好きな理由として 22 人の人が平和だからと答え、将来は平和な町にしてほしいと考える人が 49 人、つまり平和な町になれば遊佐町を好きになる人は増えるのではないのでしょうか。平和な町の他にも明るい町になってほしいと考える人も多数いました。アンケートの内容には、少年議会に実現してほしいことと町への意見というのがあります。やはりこの質問に対しても明るい町、平和な町にしてほしいという意見があり、これはどうしても少年議員としてやらなければいけないと思うのです。そのためには、街灯の設置が必要だと考えました。私自身、小学生の時の下校時、歩道が除雪されていないことがあり、薄暗い吹雪の中、車道を歩いた経験があります。アンケートでも私と同じような経験をしたと書いてくれた人もいました。

小学生や中学生の通学路などに、街灯があれば、歩道のないところでも車から歩いている人を認識で



# 政策 提言 ①

きて、交通事故の防止になって、アンケートどおりの平和な町になります。そして、アンケートにあった町への要望として、安心・安全な町にしてほしいという要望に対しても、街灯をつけることは防犯対策にもつながると思います。

私はもう一つ町にお願いしたいことがあります。それは、「若者の意見調査」で最も多かった遊佐町に店舗を増やしてほしいという意見の実現です。

私がこの意見を実現してほしい理由は、アンケートで最も意見が多かったのと、遊佐町が嫌いと答える人の理由が「何もない」「田舎だから」「つまらない」「不便」がほとんどでした。もしも、店舗が増えれば、遊佐町を好きになる人が増えると思います。

私が遊佐に必要なものとして考えるのは、遊佐町民だけでなく酒田の人たちが日常生活の一部として利用していただけるような店舗です。私は、このアンケートを集約した後、友達や家族になぜ遊佐の店舗を利用しないのかとたずねたところ、「商品数が少ない」「値段」などの問題点があるようです。このように改善された店舗が増えれば、町のPRにも効果を発揮し、若者の意見である町の活性化・都会化を実現することができるはずです。

しかし、都会化を進めるにあたって決して忘れていけないことは、遊佐を好きと答えてくれた人の理由です。その理由とは、「自然が豊かだから」です。さらに、将来どのような町になってほしいかの質問に対しては、変わらないでほしいとありました。私たち少年議会では「遊佐を好きな理由・嫌いな理由」をふまえて、「今の自然を残しながら、活性化させる」という政策案を出しました。だから、これを理解したうえで、遊佐町に店舗を増やすことを検討していただきたいです。

## 一般質問

### 少年議員 加藤 敦子

私の遊佐町への要望は、自然を利用したイベントをもっと増やすという事です。

たしかに遊佐町では鮭のつかみどり大会や鳥海ブルーライン登山マラソンなどたくさん自然を利用したイベントを行っていますが、あまり他県には知られていません。遊佐町に住んでいる友達でも、他の地区でどのようなイベントが行われているのか分かっていなかったりなど遊佐に住んでいる人でも知られていない事があります。私自身も少年議会に入って初めて知ったイベントもあり、とても驚きました。

今回、「若者の意見調査」を少年議会で集約した結果、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいと思いますか？という質問では、「町の活性化」「イベント」「自然保護」などがありました。私は書いてくれたみなさんの意見を参考にして、ツーデーマーチのような自然を利用した大きいイベントができればいいなと思います。子どもから高齢者までと広い視点で考えても自然が好きな方や写真を撮るのが好きな方にとっても喜んでもらえるのかなと思います。また、地域の方々や若い人たちと高齢者などたくさんの人たちと交流できる機会にもなり、今までより明るく元気がある町になっていけたらいいなと思っています。

遊佐町には自然がたくさんありますが、具体的には湧水を利用したイベントがあればいいなと思います。ツーデーマーチのように全国から集まってもらえるような大きいイベントを作れば「遊佐町の活性化」にもつながるし、自然に対する思いも強くなって自然を大切にしていこうという意識をもつことにつながると思います。

## 少年議員 土門 直嗣

僕が町にお聞きしたいことは、旧稲川小学校の跡地のことについてです。

旧稲川小学校の跡地は、多目的グラウンドになるということを知ったのですが、取り壊された日から全く工事が進んでいないと思います。本当にどうするのか決まっているのでしょうか。通るたびに気になります。実際に稲川小の卒業生などで「気になる」という人もいました。若い人たちにも分かるようにPRしてもらえたらうれしいです。アンケートの結果で公園設備や整備をしてほしいという方や、遊佐町が好きな理由として「ゆっくりする」「落ち着く」という方がたくさんいました。ぜひ、そのような場所を旧稲川小学校の跡地でつくってほしいと思います。

具体的には、小さな子どもでも遊べるような遊具をつくったり、安全に気をつかった設備を整えたり、高齢者でも利用できるようにゲートボールなどできるようにしたり、散歩の途中でゆっくり休んだりできるような設備になれば、いい多目的グラウンドになると思います。他に広い敷地を利用してイベントを開催したらもっと利用者が増えると思いました。周りが田んぼなのでボールなどが入らないような整備にしてほしいです。

以上のようなことをできると、町の活性化やPRなどができ、更に人が集まると思います。「若者の意見調査」でも公園の設備や整備をしてほしいという意見もありました。ぜひ、旧稲川小学校の跡地にみんなにやさしい公園の設置をお願いします。

## 少年町長 栗田 葵

私が今年の少年議会で実現したいことは、2つあります。

1つ目は「遊佐町のPR」です。今年の遊佐町に住んでいる中学生、高校生にアンケートをとった結果、遊佐町をPRしてほしいという意見が多くありました。私は昨年、遊佐町のPRとして「国内企業による遊佐町の活用を通じた町のPR」を行いました。活動を始めた時期が遅かったため、写真をとただけで企業には送れず、手紙も下書きを書いただけで終わってしまいました。今年は、新しい少年議会の仲間と協力して、遊佐町をPRしたいです。方法は、昨年と同じく企業に手紙またはビデオレター等で、遊佐町の観光スポット、景色のよい場所、遊佐町の歴史、少年議会の活動内容を紹介したいと考えています。

遊佐町には、まだまだ知られていない自然やおいしい食べ物など、遊佐町だけの良さがたくさんあります。その良さを見つけていけたらいいと思っています。

2つ目は、東日本大震災の現地ボランティアに行くことです。

2011年3月11日におきた東日本大震災から1年半が経ちました。

今でも、ボランティアを行っている団体がたくさんあります。昨年の少年議会でも、宮城県石巻市に行ってきました。市内の方は、大きな被害もなく、それほどでもないと思っていましたが、被害の大きな地域に近づくにつれて、津波でうけた被害の大きさが目に見えてくるようになりました。今までは募金や物資を送るといった活動でしたが、実際ボランティアに行くと、今まで考えていたよりも被害の大

きさが分かりました。

さらに、今年の中学生、高校生へのアンケートでも、少年議会と一緒に被災地への現地ボランティアに行ってみようといった意見が多く寄せられていました。

今年も少年議会のみんで現地ボランティアに行き、勉強できたらいいと思っています。

今年の少年議会は中学校の公民の教科書にも青少年活動の一例として紹介され、だんだんと活動内容が広まってきているように感じます。地元の人たちにも、少年議会の活動をもっと知ってほしいので、少年議会の活動をまとめた新聞をつくったりなどして広めていきたいと考えています。

## マニフェスト

### 少年議会副議長 渡邊 渚月

私が今年度の少年議員として実現したいことは「ゆざミュージックフェスティバル」の開催と、特産品の商品化・販売です。

まず、ミュージックフェスティバルは、若者の意見調査の中の「少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいと思いますか」という質問に対して、「イベント」「明るい町」「遊佐町のPR活動」「有名人を呼ぶ」という意見が出たため選びました。なぜミュージックフェスティバルにしたかというと、ミュージックフェスティバルは「イベント」であり、「有名人を呼べ」ば「遊佐町のPR活動」につながり、町民の笑顔が増える「明るい町」になるのではないかと思ったからです。

昨年は、生涯学習センター大会議室を使って開催しました。しかし、大会議室に立ち見席を会場の中央に用意しましたが、立ってみる人が少なく、両端に人が集まる形となってしまいました。また、準備期間が少なく、呼びかけ、ポスターの作成、会場の準備などがおろそかになってしまいました。以上のことを踏まえ、今年は大会議室ではなく、ホールを使い、事前に準備期間をしっかりと取り、呼びかけなどでたくさんの人に来てもらいたいと思っています。

そして、特産品づくりの方は去年に引き続き「芋煮コロッケ」「アップテト」を作りたいと思っています。そして、今年度は作るだけでなく、商品化もしたいと思っています。私は知人に、「芋煮コロッケとアップテトが美味しかったからぜひ商品にしてほしい」と言われました。今までは作るまでは作っていましたが、商品として売ることはありませんでした。特産品は商品化して初めて特産品になるので、今年はちゃんと商品にしたいと思います。そのために販売方法として、「道の駅ふらっと」などに協力をお願いに行きたいと思っています。

最後になりますが、ミュージックフェスティバルを開催し、遊佐町に活気をつけ、特産品を販売することにより、たくさんの人たちを笑顔にするためにがんばります。

## マニフェスト

### 少年議員 高橋 朋佳

私が少年議員として実現させたいことは、世代間交流を目的としたイベントを行うことです。例えば、小さい子からお年寄りまで一緒になり、料理を作ったり、昔遊びなどをしたいと考えています。

若者の意見調査アンケートを集計すると、「活性化してほしい」という意見が多数ありました。ですが、

一部の人だけが盛り上がるのではなく、幅広い年代の人達が一緒になって参加できるイベントにしたいです。

理由として、最近では地域の人と触れ合ったり、交流する場が少なくなっていると感じています。それでは活性化につながるどころが、明るい町づくりさえできないと思います。同世代の人達との関係も大切ですが、今のことだけでなく、昔の話について関心を持ち、もっと遊佐を好きになってほしいと思います。

私には、90歳になるひいおばあちゃんがあります。今では外に出ることが少なく、地域の人との関わりが全くと言っていいほどありません。考えてみると、一人暮らしのお年寄りの方々にとって、地域で触れ合う機会は少なくなっていると感じます。

そこで、世代間交流を目的としたイベントを行うことにより、地域の方々や違う世代の人達と触れ合うことは、活性化につながると共に、明るい笑顔のあふれる町になっていくと思います。

若い世代の人達がお年寄りと、お年寄りが若い世代の人達と意見交換をしたりすることで、お互いの意識が変わり、新たな発見ができるのではないかと思います。

私達よりも、遊佐町のことを知っているお年寄りと話することで、町の良さや好きな所についてもっと深く考え、生活していくようになると良いなと思います。

このようなイベントを通し、世代関係なく触れ合い、関わりを持つことで町全体がもっと明るく、笑顔であふれるようになると思います。

全体的に見て、大変だとは思いますが、町民全員が楽しみ、町の活性化につながっていくのは良いことなので、自分なりにできることから始めていきたいです。

これらのことから、私は世代間交流を目的としたイベントを開催すると共に、町を活性化を実現させたいです。

## マニフェスト

### 少年議会議長 三浦 遼太

僕が少年議員として実現したいことは、被災地支援と自然保護活動です。被災地支援の具体的な活動内容は、募金活動、現地でのチャリティーコンサートです。募金活動は、西浜花火大会などの人がたくさん集まる様々なイベントで行います。チャリティーコンサートは、被災地に行きたくさんの人々にソーランで笑顔届けたいです。先日、イベントで募金をお願いしました。呼びかけは大変でしたが、快く募金に協力してくださった人たちのお蔭で、たくさん募金を集めることが出来ました。ソーランのりやりティーコンサートを開催したいと思った理由は、去年の被災地ボランティアのときに、明るい笑顔で被災地の皆さんが迎えてくれたからです。今度は僕たちが被災者の皆さんに僕が高校でやっているソーランで笑顔と元気を届けたいです。そして、少しでもみんなで復興するぞという気持ちになって貰いたいと思います。それと、チャリティーコンサートで遊佐町の特産品を販売することで、遊佐町のPRに繋がり、遊佐町を知って貰える切っ掛けになるとと思います。ぜひチャリティーコンサートを開催したいです。

自然保護活動の具体的な活動内容は、遊佐町内に暮らす町民の皆さんにクリーン作成に参加して頂き遊佐町内の清掃活動を行います。自然保護活動をしたいと思った理由は2つあります。1つ目は、観光客の皆さんが心から遊佐町の自然を楽しめる環境にして、多くの観光客が来る町にしたいからです。2つ目



# 政策 提言 ①

は、未来のために今の美しい大自然を守っていききたいからです。僕達が大人になり、子どもたちにこの遊佐町の大自然を変わらないまま残すためにも、自然保護活動を実現したいです。

僕は、今年少年議員としてできる事を一生懸命頑張ります。この遊佐町をもっとすばらしい町にしていくために、僕達1人1人が、少年議員であることを意識し行動に責任をもって活動します。政策を実現するためにも、少年町長・少年議員が協力しあって頑張りたいと思います。

平成25年1月16日（水）

## 第3回少年議会

### 全体総括

## 少年町長 栗田 葵

私たち第10期少年議会の活動をはじめて半年が立ちました。少年議会活動を行うにあたり、若者の意見調査を実施しその結果を参考に政策を立案しました。遊佐町に対する気持ち、特に、遊佐町の自然を守ってほしい、活気がほしいという意見が多く、その思いを受け止め、「自然・人・文化 遊佐町らしさをまるごと活かしたまちづくり」をコンセプトに、半年間活動をしてきました。この目標の実現に向け、遊佐町で初めてのスポーツごみ拾いイベントの実施、特産品づくり、若者主役のイベントの開催などの活動に取り組みました。地域の方々からのご理解、ご協力に支えられ政策を実行に移しましたが、形にすることができなかつた政策もありますので、その部分については、可能な限り、次期少年議会から引き継いでほしいと思っています。

しかし、その前にもう少しで実現が可能な政策もあります。少年議会の任期は、12月末となっていますが、2月末まで引き続き第10期少年議会として活動を続けさせていただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

### 議会報告

## 少年町長 栗田 葵

私は、少年町長の栗田 葵です。少年町長としての初めての仕事は、遊佐町盆踊り大会でのあいさつでした。若者のまちづくりへの参加を呼び掛けたのですが、やぐらの上に乗ってのあいさつはとても緊張しました。しかし、祭りの雰囲気になれないよう大きな声でがんばりました。また、少年町長としての町当局の皆さんの前での意見発表も、自分にとって良い経験になりました。今まで人前で話すことが苦手だった私にとって、少年町長という責任ある役職を経験し、いろいろな場で意見を発表することで、苦手意識がなくなっていくように感じます。

スポーツごみ拾い in 遊佐「ゴミスポ!」では、私達の政策の実現のため、多くの方からご協力をいただきました。ごみ拾いだけでなく、ごみクイズ、新聞紙を使ったエコバックづくりなどのレクレーションを行いました。最後には、ごみ拾いを行ったエリアの地図に、自分がごみを拾った場所をシールでマークしてもらい、みんなでそれを見て、遊佐町のポイ捨てごみの多さを実感しました。子どもも大人も一緒に、遊佐町の環境を守ろうという呼びかけが、参加者の皆さんに届いていれらうれしいです。

特産品作り・販売では、町民の皆さんや企業の方々に宣伝することがとても難しいことだと痛感しました。普通に説明するだけでは面白味がないので、来年はキャッチフレーズを考えてみるとおもしろいのではないかと思います。

今期の少年議会では、被災地での現地ボランティアは行えませんでした。募金を行い、少しでも支援できるようにがんばりました。

今後の予定として、2月16日には、ゆぎミュージックフェスティバルを行います。今回は、遊佐町の団体だけではなく、酒田市の高校で活動しているバンドや、一般のバンドも募集します。前年のフェスティバルよりも盛り上げていきたいです。

今年の少年議会は、前期少年議会在後半、週3日以上集まっていたのと比べ、議員みんなの時間が合わなかったこともあります。個人的には、少人数でもいいのでより多く全員協議会を開き、話し合いをしたかったと思います。この反省点を来年の少年議員では改善できたらいいなと思います。

来年度の少年議会では、自分達で考えて集まり、明るく楽しく活発に議員活動を行って欲しいです。一年間、ご協力をいただき、ありがとうございました。

## 議 会 報 告

### 少年議会副議長 渡邊 渚月

私は少年議会副議長の渡邊 渚月です。私のマニフェストは「ゆぎミュージックフェスティバル」の開催と、特産品の商品化でした。

ゆぎミュージックフェスティバルは、昨年度の第9期少年議会でも行いましたが、昨年は「人が集まらない」「座る席が少ない」「準備期間が短い」などたくさんの課題が残る結果となりました。

今年度のミュージックフェスティバルは、現在準備中ですが、昨年度に出た課題をクリアするとともに、これまでのものよりも、町民の皆さんに「こんなおもしれけ」「まだ来年も見っでの」「見に行て良かった」と思っただけのようなイベントにしたいと思います。そのために、積極的なチラシ配りや、人目につきやすい場所にポスターをはります。当初の予定では、アーティストを呼び、それを目玉にするつもりでした。しかし、アーティストに出演依頼をするのが遅かったために断念しました。少年議会活動が始まってすぐ連絡をする必要があったと残念に思っています。準備期間は、昨年9月から始めたので、今年は万全の状態でのぞめると思っています。次期少年議会で「今年もやりたい」「もっとすごいものをやりたい」と思ってもらえ、継続して実施してもらえようようにがんばりたいと思います。

特産品の商品化では、歳の市をはじめ、いくつかのイベントで商品として販売することができました。「試食」という形ではなく、「商品」として売り出したことで、多くの人に少年議会の考えた特産品をわかってもらえたのではないかと思います。少年議会で考える以前から遊佐町には沢山の特産品がありますが、中高生の意見で作った新たな特産品は、全国的にもめずらしいと思います。「中高生の意見から完成した特産品」として、もっと町内・町外の様々な店に販売していただけたら、遊佐町のPRにつながると思います。そのためにも、議会の特産品の完成度をより高める必要があると思います。

最後に、私達の今期の活動で、遊佐町民の方々に「遊佐っておもしれ事してるの」と思っただけいたら嬉しく思います。ありがとうございました。

## 議 会 報 告

### 少年議員 高橋 朋佳

私は少年議員の高橋 朋佳です。私は、第10期少年議員になり、始めのころは何をしたらいいのか、

どんな活動をしたら町が明るくなるのか、正直分かりませんでした。でも、議会での活動を重ねるごとに、遊佐町の知らなかったことや、分かっていなかったことを発見できました。そして、何よりも私自身に変化がありました。前までの私は、何事にも消極的で、自分から意見を述べるのが嫌いでしたが、議員になってから、意見を述べたり、話し合ったりしていくうちに、積極的に物事を考え行動にうつせるようになりました。

これまで、海岸清掃や町の様々な行事に参加させてもらいました。その中での話し合いでは、自分とは違った考えがあり、私自身、考えさせられました。これまで行った活動を通し、町への関心が高くなり、もっと遊佐町について知りたいと思いました。

そして、議員になった特にうれしかったのが、私が考えた政策が実現したことです。私は「世代間交流」を政策としていましたが、政策の実現のために話し合う中で、自然保護活動の一環として行う「ゴミスポ」に、幅広い年齢の方から参加してもらうことで、「世代間交流」を実現しようと決まりました。実際に、子どもからお年寄りまでが関わって、地域みんなで楽しんでもらえたと思います。

一年間という短い期間での活動だったのですが、町について考え、関心を持ち、楽しく活動することができました。私の中で、とても良い貴重な体験になりました。

## 議 会 報 告

### 少年議員 土門 奈央

私は、少年議員の土門 奈央です。私は、少年議員として様々なイベントに参加してきました。第20回奥の細道ツーデーマーチではウォーカーの皆さんに激励の言葉を送り、海岸清掃では夏の暑い中海のゴミを拾い、神鹿角切祭では、神水役としてお手伝いさせていただきました。約半年間で多くのイベントに普通の中学生ではできない形で参加する事ができたし、若者の意見調査などを通しては、遊佐町の実状について知ることができました。これらのことを通して、遊佐町のことを知り、遊佐町をより良い町にしたいという思いが、いっそう強くなりました。また、今まで、同じ年代の人としか関わってこなかった私は、様々な立場・考えを持った人達と交流し視野が広がり、自分の思いも伝えられるようになったと思います。

しかし、遊佐町にはまだ課題が残っていると思います。それは、遊佐町の活性化です。私自身、少年議員にならなければ地元について何も知らない人間になっていたかもしれません。私の友達にも遊佐町について詳しく知っている人は少ないと思います。町民が町のことを知り、自分の住んでいる町に興味を持ち、遊佐町を誇りに思えるようになることで、まちづくりについて考えて様々な活動が生まれ、町が元気になると思います。町には、町外の人にだけでなく、町内の人にも遊佐町を知ってもらえるような取り組みをお願いしたいと思います。

活性化に関しては、少年議会では前期に引き続き「芋煮コロッケ」と「アップテト」を作り、昨年12月15日のフードフェスタに試食品として出品し、12月29日の歳の市では、各1個50円で販売しました。しかし、店舗販売はまだ決まっていません。もし、この2つの店舗販売が決まれば、遊佐町に来なければ食べられない特産品として、活性化につながると思います。今現在、その取り組みを行っている途中ですが、次期少年議員にも引き続き開発・販売を頑張ってもらいたいと思います。



## 少年議員 池田 貴裕

私は少年議員の池田 貴裕です。私は、最終議会にあたって、遊佐町にお聞きしたいことがあります。それは、今後どんなまちづくりが進められるかということです。

若者の意見では、遊佐町の良いところとして、自然が豊か、静か、食べ物がおいしい、ということが挙げられていました。でもそれだけでは、町の発展には繋がらないような気がします。昨年、旧青山邸近くに「八福神」ができ、遊佐町の PR になりました。雇用にも影響があったと思います。何年か後には、日本海沿岸東北自動車道ができ、遠方からの集客も期待できるかもしれません。しかし、今のままでは、ただ通り過ぎるだけの遊佐町になりかねません。今のうちに、遊佐町を盛り上げる必要があるのだと思います。

遊佐町は、他町に比べ、「メイン通り」というものが無いように感じられます。良い所はいっぱいあるのに、活かされていないような気がします。ツーデーマーチを始めいろいろな行事を内外にアピールし、今以上の集客を図るために HP やメディアを活用してもらいたいです。また、少年議会だけでなく、少年議会に賛同した若者も参加できるまちおこしの方法があればと思います。

私は、今期も少年議会の一員として名前を連ねさせていただきましたが、ほとんど部活動と大会への参加で、議員活動がおろそかになってしまったことを申し訳なく思っています。部活動をやりながらの全員協議会への出席は、時間の関係で正直難しかったと思います。

次期少年議会の皆さん、時間の許す限り議会に参加してください。どんな小さなことでも意見を出し合ってください。そこから遊佐町を盛り上げる何かが見えてくるとと思います。皆さんが主役なのです。頑張ってください。

## 少年議員 友野 雄

少年議員の友野 雄です。自分は部活で忙しく、少年議員にはあまり参加することができませんでした。少年議員の活動はとても良いと思いました。遊佐町をより良くしたいと思い集まった自分達少年議員の話し合いの中で、良い意見を出す事ができ、遊佐町の発展に少しでも関わったことを、とても誇りに思います。

遊佐町盆踊りでは、花笠踊りに参加し、普段できない体験をすることができました。自分はこれまで、遊佐町のイベントに参加する方ではありませんでしたが、これを機に遊佐町のイベントに積極的に参加し、遊佐町を盛り上げることができればと思います。

私は、海岸清掃を政策としてあげていました。その一つとして、7月に西浜の海岸清掃を実現することができました。自分は今まで、ゴミが落ちていても拾うことはなく、そのままにしていました。今回の経験で、ゴミに対する意識が変わり、今後も継続して清掃活動等に参加したいと思います。

今回の少年議会では、様々な事を学ぶことができました。今回学んだことを、これからの生活に活かしたいと思います。少年議員の活動はもう少しで終わりますが、遊佐町をより良くしたいという気持ち

は、これからも変わりません。これからも遊佐町に貢献できるように自分のできる事を探していきたいと思えます。

**議 会 報 告****少年議員 加藤 敦子**

私は、少年議員の加藤 敦子です。少年議会になったのは今回が 2 度目で、前期少年議会で行った被災地支援や遊佐町の PR などを引き続き行いたいと所信表明をした日から早くも半年が立ちました。実際活動してみると、時間がなかったり皆の都合がなかなか合わなかったり、盆踊りや花火大会など町のイベントもたくさんありとても大変でした。私が提案した政策である自然を活かしたイベントも残念ながら時間がなく実現することは出来ませんでした。

しかし、特産品については、今までより作る機会も多く、皆で協力してできたかと思えます。12月15日にはフードフェスタがあり、参加業者の方々から貴重な意見や感想を直接聞くこともできました。初めて参加させていただいたイベントなので、厳しい事を言われたらどうしようと不安でしたが、「おいしい」と言ってもらえた時は本当に嬉しかったです。食べてくれた人が他の人に「これおいしいよ」と言って連れてきてくれたことも印象に残っています。このように、少年議会に入ったことで、遊佐町の人と触れ合うことが多くなり、今までより遊佐町の人々の温かさを身近に感じる事ができ、本当にいい経験ができたと思えます。

私は、この遊佐町の温かさを被災地の人たちに届けたいと思っています。東日本大震災からあと少しで 2 年経とうとしていますが、未だに仮設住宅での暮らしをされている人も多くいらっしゃいます。そんな皆さんと、私達少年議会が被災地で触れ合い、少しでも元気になってもらいたいと思えます。社会福祉協議会の方に確認していただいたところ、昨年にチャリティーの受け入れをしてくれる団体が立ち上がったということなので、今期少年議会の最後の活動として、私達の被災地でのチャリティーイベントを、学校の先生と相談しながら、ぜひ実現させたいです。

**議 会 報 告****少年議員 土門 直嗣**

少年議員の土門 直嗣です。今年の 1 年間、少年議会をやってみて、思っていた以上に楽しく活動することができました。活動をする前と後で変わったことは、少年議会のイメージです。活動前は、堅苦しくてあまり面白くないイメージでしたが、今年度実際に議員になってみると、とても楽しく活動することができました。また、少年議会のやることはボランティアだけだと思っていたのですが、ボランティア以外にも、遊佐町の特産品を考え実際に作り販売したり、自分達の政策を話し合っ決めて実現させたりと、議員になって分かったことがたくさんありました。

自分が、特に力を入れた政策は、特産品づくりです。調理は全て立ち作業で、一日に何十個も作るのはとても大変でした。今後は、今期中に少年議会にて提案した特産品の商品化のため、味付けなどの分量をきちんと決めて、同じ味にしたいと思っています。味付けだけでなく、原価計算も行い値段もきちんと決めて、町内・町外のお店と交渉し、商品化を実現したいと思っています。また、フードフェスタで

# 政策 提言 ②

は、遊佐町にはたくさんの特産品があり、その販売のためがんばっていることを知りました。これらの特産品をアピールできれば、町の活性化にもつながると思います。

来年度少年議会を続けるとしたら、特産品以外にも、被災地へのボランティア活動に力を入れたいです。今年度は、募金を届けることができましたが、来年度は、自分達で直接届けたいと考えています。また、被災地でのボランティアも行いたいです。

来年度の少年議会には、若者の意見調査で「参加したい」という意見が多かったボランティア活動に興味がある人や、遊佐町に貢献したいと考える人、少年議会に関心がある人には、ぜひ入ってほしいです。自分が少年議員をして楽しかったことを友達にも伝え、すすめたいと思っています。

## 議 会 報 告

### 少年議会議長 三浦 遼太

僕は、少年議会議長の三浦 遼太です。僕が政策にしていたことは2つありました。1つ目は、ゴミ拾いなどの自然保護活動をすることでした。政策をまとめてそれを実現させるために話し合った結果、ゴミ拾いをスポーツ感覚で行う遊佐町で初の「スポーツごみ拾い」を実施することにしました。イベント名は「ゴミスポ!」でした。今回のイベントを開催するにあたり、NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡、スポーツ少年団、環境推進員の皆さんから協力をいただきました。そのおかげで、初めてのイベントを成功させることができました。遊佐中学校の創立20周年記念式典と日程が重なってしまいましたが、予想以上の方から参加いただき、小学生から年配の方まで、参加者の皆さんも、楽しみながら一生懸命に取り組んでいました。僕自身も、今回の経験を通して、遊佐町の大自然を未来の子ども達のために守り、大切にしていって欲しいと心から思いました。ぜひ、次期少年議員の皆さんにも政策にいただき、実施する場所や時期を検討して、遊佐町の名物イベントとして、続けて貰いたいです。

2つ目は、被災地石巻でソーランのチャリティコンサートをするという政策です。しかし、チャリティーの受け入れが難しく、年内で開催することは出来ませんでした。しかし、先月、被災地では、ボランティアだけでなくチャリティーを受け入れる団体が立ち上がったと聞き、連絡したところ、受け入れできるという返事を貰いました。可能であれば、学校と調整し、残りの議会活動でぜひ実現させたいです。

2月16日に、ゆぎミュージックフェスティバルを開催することになっています。このイベントを少年議会一丸となって成功させたいと思います。

僕は、酒田市に住んでいます。今回、酒田市にはない少年議会に参加し、中高生の疑問や意見を大人の皆さんに向けて伝えることができるとても良い機会をいただきました。そして、自分の考えたことを実現することができ、とてもうれしかったです。

今年度が充実した一年間になったのは、この少年議会のおかげです。来年度、続けることができれば、ぜひ続けたいと思います。

## 平成24年度遊佐町少年町長・少年議会公選事業プロジェクト名簿

	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	次長兼議事係長	今野 信雄
2	総務課	総務係主任	菅原 潤(選挙管理委員会)
3	企画課	課長補佐兼企画係長	高橋 務
4		企画係主任	石垣 学
5	教育課	課長	東海林 和夫
6		学校指導係長兼指導主事	後藤 司
7		総務学事係主事	佐藤 明子
8		文化係主事	高橋 英里
9		社会教育指導員	佐藤 正子
10		課長補佐兼社会教育係長	御船 克彦(事務局)
11		社会教育係主任	本間 裕行(事務局)
12		社会教育係主事	高橋 まり子(事務局)
13		社会教育係主事	高橋 愛(事務局)

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。

○プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※担当課 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課



明日の遊佐町に  
ぼくたち、わたしたちは提案します。

